

和歌山が考える「子どもを支えるチームとしての学校」

提案にあります「和歌山らしさ」を視覚的に表してみました。

学校事務職員である我々も、子どものすこやかな成長を保障するために、教職員の一人として保護者・地域の方々・外部スタッフと情報を共有し、意見交換ができる関係を築いています。そのためには、学校にいることが重要であると考えます。

